

「SOSの出し方教育」を実施しました。

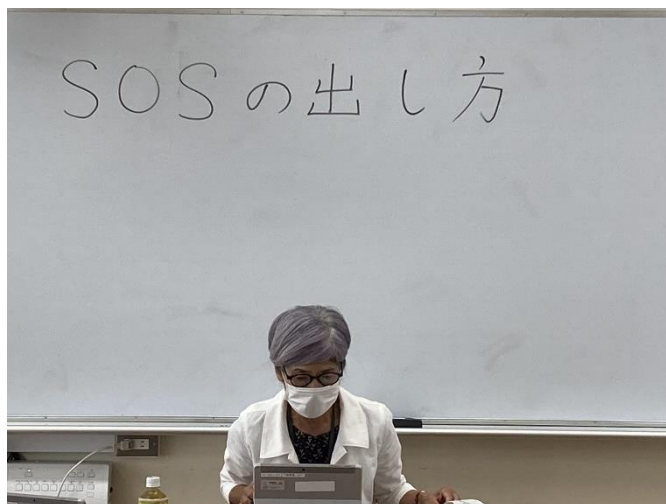
令和4年7月12日

岐阜県立海津明誠高等学校

7月8日6時限目、本校スクールカウンセラーの田中淑子先生にお越しいただき、SOSの出し方教育を実施しました。

SOSの発信方法だけでなく、友達から発せられるSOSサインを受け取った時の対応方法についてもお話しいただいたため、多くの生徒が自分自身のことだと受け止めて、真剣に話を聴きました。

コロナ禍で思うように過ごすことができない日々が続きますが、互いに支え合って学校生活を送っていきたいです。



生徒の感想（ワークシートより）

頑張ってもアドバイスをしても、相手の気持ちが良くなるわけではないと分かりました。黙って話を聴けるようになりたいです。 1年生女子

私は人に相談されると必ずアドバイスをしてしまうので、それもあまりよくないことなんだと知れたことが良かったです。 3年生男子

相談することは、その相手に少し背負ってもらうことと言うのを聞いて、信頼している友達とはお互いよく相談することがあって、いつも助けられているので、同じように、他の子も困っているとき助けたいし、自分が辛いときは周りを頼りたいです。 2年生女子

相談された時は、無理にアドバイスをせず、話をじっくり聴いてあげるのが良いということが分かった。

もし自分に悩みがあって、一人で解決できない時は、周りに相談しようと思った。 1年生男子

自分一人で悩んで体調が悪くなってしまいう前に相談したいと思いました。また、気軽に相談ができる人をつくっておきたいと思いました。そして私も人に頼ってもらえる人になりたいです。

仲の良い友達に対しても良く見て、変わったことがないか気を付けていきたいです。（何かあった？など）

相談内容によっては無理にアドバイスするのではなく、信頼できる大人に相談することが大切だと分かった。 3年生女子

